

令和8年度 飯室地区地域運営委員会 事業計画書

1 今年度の目標

・昨年度の活動を見直し、継続すべき点と修正すべき点を見極め活動する。
・地域課題の解決事業について、昨年度の改善点を踏まえて、活動のマンネリ化を防ぐため、新規事業の実施を目指す。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	飯室小学校新一年生交通安全教室	(13)事業中(1)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(10) 地域の交通安全に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月中旬	
(2) 実施場所	飯室小学校グラウンドおよび周辺歩道	
(3) 参加者数	20人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 いむろエルモ（安佐北交通安全協会飯室支部）	
4 取組内容	新一年生を対象とした交通安全教室を実施し、横断歩道の安全なわたり方をまずはグラウンドでその後の小学校の近くの歩道から交差点の横断歩道を指導者の下で実際に歩いて安全な横断歩道のわたり方を学んでもらう。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 新一年生を対象とした交通安全教室は今まで行われてきたが、各行を同じ組織で回るため、時期が遅くなることがあった。4月から新一年生は歩いて登校しており、早い時期に横断歩道の渡り方などを教える教室を地域に根差した団体である安佐北交通安全協会飯室支部が主になり行うことは意義がある。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） グラウンドでの模擬的な横断歩道だけでなく、小学校のすぐ近くの横断歩道を実際にわたつて安全なわたり方を学び事故に合わないための知識を身につけてもらう。また子ども達が地域の人達と顔なじみになり、困った時に「助けて」が言える関係づくりにも寄与する。そして地域全体で子ども達を見守っていることを親世代にも知っている機会となり、いむろエルモの存在を周知することができる	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	飯室学区あいさつ運動、児童登校下見守りボランティア	(13) 事業中(2) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(9) 地域の防犯に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月 ～ 令和9年3月	
(2) 実施場所	飯室小正門前、清和中東西校門前及び登下校路沿道	
(3) 参加者数	30 人(見込み)	
(4) 主催団体	団体名 いむろエルモ(飯室地区青少年健全育成協議会、 飯室地区社会福祉協議会、飯室地区老人クラブ飯室寿会、飯室地区連合自治会)	
4 取組内容		
飯室小学校のあいさつ運動の日に合わせて、地域の団体から募った任意の方による、小中学校の校門前での朝のあいさつ運動の実施。小中学生の登下校時沿道の要所要所で安全見守り。		
5 目的・効果		
(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 青少協主催で以前から行われてきたあいさつ運動だが、広報や日程、立ち位置に関する連絡が不十分であり課題が多かった。また活動者の中にはボランティア保険未加入者もあり、不測の事態への備えが不十分であり活動が脆弱であった。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) エルモが実施することで活動組織体制を整え、活動に携わる人の把握、活動者への活動内容の連絡、広報周知、ボランティア活動保険への加入を明らかにし、事故等にあった場合の対策を明確にする。また地域全体にこうしたあいさつ運動の活動を周知することができ、安心安全な飯室地区を築くことができる。		

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	菜の花プロジェクト	(13) 事業中(3) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 <u>8</u> 年 <u>4</u> 月 ～ 令和 <u>8</u> 年 <u>7</u> 月	
(2) 実施場所	飯室バイパス	
(3) 参加者数	<u>20</u> 人×2回(見込み)	
(4) 主催団体	団体名 <u>いむろエルモ</u>	
4 取組内容	飯室バイパス上下線の植樹帯の端に菜の花のプランターを設置し一帯を菜の花でいっぱいにする。	
5 目的・効果	(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 飯室地区では、地域としての特色が乏しく、人口流出が進んでいるという課題を抱えている。地区の特色づくりのため、飯室地区の新しい名所として飯室バイパスを菜の花ロードと呼ばれるようになることをめざして、手作りの木のプランターに付近の休耕田にある菜の花の苗を移植し植樹帯の端部に設置する。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) 移植、設置作業を地元の小中学生と共に行い、飯室の新しい名所を創り出すことで、飯室の街づくりを実体験してもらう機会を創出する。地域の美化に資する活動に携わることで、若年層と地域住民との交流を促進し、今後の街づくりの担い手の確保に期待する。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	安佐町防災フェスタ	(13) 事業中 (4) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(8) 地域の防災又は減災に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 <u>8</u> 年 <u>6</u> 月 <u>7</u> 日	
(2) 実施場所	コムズ安佐パーク駐車場、管内特設ブース	
(3) 参加者数	<u>500</u> 人 (見込み)	
(4) 主催団体	団体名 <u>いむろエルモ（飯室学区自主防災会連合会、飯室地区連合自治会）</u>	
4 取組内容	防災に対する意識を楽しみの中に学んでもらう防災フェスタを開催する。 飯室小学校4年生へ飯室自主防災会として防災授業にかかわってきたことから、新5年生による防災授業のまとめの発表をステージでプレゼン形式で行ってもらう。 飯室の住民に防災知識を高めてもらえるよう、防災情報の取得、避難のタイミング等周知する講演を行う。また、楽しんで学べる防災クイズを行う。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 飯室地区が土砂災害の危険度が高い地域であること、南海トラフ地震等地震への対策へ意識があまりないことなど、住民の災害に備える意識を向上してもらいたい。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 子供の発表には親のみならず祖父母、地域の住民も興味を持って聞いてくれる（昨年度の実績あり）。また、消防署より地震体験車の出展があることから、広島市の地震予想でこの地区が震度5強とされている、その震度を体験してもらい地震に備える知識を高めてもらえることを期待している。祭り形式にすることで多くの人の参加が期待できる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	いむろイルミネーション	(13) 事業中 (5) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 <u>8</u> 年 <u>7</u> 月 ～ 令和 <u>8</u> 年 <u>12</u> 月	
(2) 実施場所	飯室交差点付近歩道民地側	
(3) 参加者数	<u>10</u> 人 (見込み)	
(4) 主催団体	団体名 <u>いむろエルモ</u>	
4 取組内容	飯室交差点付近、飯室小学校からコインランドリー、原田様宅前の歩道民地側に手作りのイルミネーションを作成、設置し 11 月からクリスマスにかけて点灯、新しい飯室の名物にする。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 飯室地区では、地域としての特色が乏しく、人口流出が進んでいるという課題を抱えている。本事業は飯室のまちづくりの提案について小中学生に聞いたアンケートを行った際に得られた案であり、エルモ事務員により中学生に打診したところ清和中美術部の協力が得られる可能性が出てきたため、飯室の特色を若者の手で創り出すことを目的とする。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） イルミネーションの作成、設置を地元の中学生に手伝ってもらうことで、若者と地域住民の交流を促進する。 飯室の新しい名所を創り出すことに関わって貰うことで飯室の街づくりを実体験してもらう。これにより、将来の街づくりの担い手の育成につながることを期待する。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	いむろ夜祭りボンダンス	(13) 事業中(6) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 <u>8</u> 年 <u>8</u> 月 <u>12</u> 日	
(2) 実施場所	コムズ安佐パーク屋上駐車場	
(3) 参加者数	<u>2,000</u> 人(見込み)	
(4) 主催団体	団体名 <u>いむろエルモ</u>	
4 取組内容	お盆時期に飯室の住民を対象に盆踊りや夜店が出る夜祭りを楽しんでもらう。 ・飾り付けから地域団体と共に行い、交流の一環とする。 ・老人会の三味線伴奏、歌い手、踊りの指導も地域団体有志で盛り上げる。 ・若い世代の演目も用意し、事前に中学生の有志によってダンスを練習し当日のリーダーとなってもらい中高生を巻き込む。	
5 目的・効果	(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 盆休みの帰省中の家族などが楽しめる夜祭を行い飯室の町の魅力をアピールする。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) 盆踊りや夜店が出店する夜祭を通じて住民の交流を深め、飯室の年中行事として浸透させ、子どもの頃盆踊りや夜店に行ったなといった記憶を持ってもらい、お盆に飯室に帰って夜祭に行こうかと思ってもらえるような魅力のある街にすることができる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	敬老の日祝賀会	(13) 事業中(7) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(6) 地域の高齢者、障害者等への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年9月14日 ~ 令和8年9月15日	
(2) 実施場所	飯室小学校体育館	
(3) 参加者数	100人(見込み)	
(4) 主催団体	団体名 いむろエルモ(飯室地区連合自治会、飯室地区社会福祉協議会)	
4 取組内容	敬老の日に飯室地区内の75歳以上の人を対象に祝賀会式典、セレモニー、アトラクションを開催し、招待者に饅頭と弁当を配る。小学生によるお祝いの言葉、子ども会による子供たちの銭太鼓、地元神楽団による神楽の公演、交通安全協会から交通事故防止講演を実施する。 冷房のない体育館での開催は厳しい環境にあるため、スポットクーラーを入れて開催する。	
5 目的・効果	(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 高齢化率が高い飯室地区において長寿を祝うための75歳以上の高齢者への敬老のお祝いと、高齢者を狙った犯罪や事故が多いことから、事故や詐欺犯罪防止の啓蒙活動を実施する。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) かつては、連合自治会に加盟し、会費を払っている地域の高齢者のみが対象者だったが、エルモの事業とすることで飯室地区に住まう住民すべてを対象とできるようになる。広く広報し、閉じこもりがちな高齢者をこうした場に誘うことで交流の機会の創出となり、町内会の参加促進につながる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	福祉の集い	(13)事業中(8)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(6) 地域の高齢者、障害者等への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年10月20日 ～ 令和8年10月27日の中で1日	
(2) 実施場所	豊平どんぐり村どんぐり荘	
(3) 参加者数	50人(見込み)	
(4) 主催団体	団体名 いむろエルモ (飯室地区社会福祉協議会、飯室地区老人クラブ飯室寿会)	
4 取組内容	飯室地区の65歳以上の一人暮らしの高齢者を対象に、温泉のある施設で会食し、余興(脳トレクイズ等)や手作りの出し物、カラオケ等で楽しんでもらう内容である。	
5 目的・効果	(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 地域で社協の福祉委員や民生委員が一人暮らしの高齢者を中心に見守り活動をしているが、日頃他人とおしゃべりをする機会が少ない一人暮らしの方が飯室地区には多い現状がある。そこで皆さん一堂に会して、おしゃべりや会食、余興で楽しんで貰う機会を持つ。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) 福祉委員や民生委員が日頃は1対1で見守り活動、声かけをしているが、同じような生活状況の方が集まり、会話し、余興や会食を楽しんでもらえる機会ができる。また、健康増進やつながりの強化、困ったときに声のかけあえる関係づくりにも寄与すること見込まれる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	青少協、交通安全協会飯室支部、防犯組合合同カレンダー、のぼり旗作成	(13) 事業中(9) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(7) 地域の生活環境の整備又は美化に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年7月 ～ 令和8年12月	
(2) 実施場所	飯室小、飯室地区各所	
(3) 参加者数	1,200 戸（見込み）幟旗は20本	
(4) 主催団体	団体名 いむろエルモ（飯室地区青少年健全育成協議会、 安佐北交通安全協会飯室支部、飯室地区防犯組合連合会）	
4 取組内容	交通安全協会飯室支部や防犯組合と共に下記の内容を実施する。 ・行事カレンダー作成の配布（地区住民全員へ配布） ・小学生に交通安全の標語の募集し、入賞者等を決める ・入賞者の標語はのぼり旗へ標語を印刷し各所へ立てる	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 今まで青少協が単独で行ってきた事業であるが、交通安全協会や防犯組合等も似通った活動を行っていた。また担い手もそれぞれとなり、団体間の連携も難しいところがあった。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 同じような活動をしている青少協、交通安全協会、防犯組合が合同で啓蒙活動をすることで飯室の住民に意識を持たせる効果が期待できる。 青少協の活動を今まで活動する予算の足らなかった交通安全協会や防犯組合の活動にも広げる。それぞれの団体の連携協会につながると共に防犯意識の向上、子ども達の安心安全、さらにその親へも取り組みを知ってもらう機会となる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	ふれあいスポーツフェスタ	(13) 事業中 (10) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年11月	
(2) 実施場所	飯室小グラウンド	
(3) 参加者数	200人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 いむろエルモ（飯室学区体育協会、飯室地区社会福祉協議会、飯室学区子ども会育成協議会、飯室地区老人クラブ飯室寿会、飯室地区連合自治会）	
4 取組内容	広い世代に楽しんでもらえるスポーツをいろいろな種目で紹介、体験してもらい、体を動かしスポーツを楽しむ機会を持ってもらう。 ・体育協会学区部活動の取り組み紹介リーフレット作成 ・フェスタにてバスケットボールやペタンク、グラウンドゴルフ等各スポーツを体験してもらい、スタンプラリーを行いそれぞれの体験をしてもらった人へ参加賞をお渡しする。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 飯室学区には体育協会学区部活動が行われているが、開催時間や場所等広報不足があり、広く知ってもらう機会が乏しかった。また、全住民対象とした交流の場がコロナ以降減っている現状もある。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） リーフレットを作成し取り組みを知ってもらうだけでなく、体験をする機会を設けることで広い世代を対象にスポーツを体験してもらい、健康増進につながる。その競技に参加する機会を持ってもらうほか、楽しんで体づくりをする方法を知ってもらう。子どもから高齢までふれあいをもちながらスポーツを楽しむ機会の創出となり、交流の場の創出となる。 令和7年度に実施した際に、拡大開催の話が出るなど大会への盛り上がりを感じられたことから、飯室地区のメインイベントとして大事にしていきたい。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	親と子のお楽しみスポーツ観戦会	(13) 事業中 (11) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年11月 ～ 令和9年3月	
(2) 実施場所	ピースウイング、グリーンアリーナ	
(3) 参加者数	20人×2回（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 いむろエルモ（飯室学区子ども会育成協議会、 飯室学区体育協会）	
4 取組内容	子供会が開催しているお楽しみ会を対象を拡大して「親と子と地域のスポーツ観戦お楽しみ会」と題して親と子供と地域住民のふれあいの場を作る。 ツアーの実施に当たっては、広く飯室地区に居住する親子、高齢者へも参加を呼びかけ、親子、地域住民の交流の機会とする。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 飯室地区では、こどもが少なく、地域の役員も高齢化していることから、こども関連の行事が減少している。こうした中、地域におけるこどもや親同士また地域の住民と交流を図るため、観戦ツアーを実施する。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） スポーツ観戦という場を活用することで、地域内のこどもや親が交流する場となり、地域内での若い世代のつながりづくりになる。 また、将来の地域を担うことこどもや親世代に、いむろエルモの存在を知ってもらう機会となり、地域活動の賛同者や担い手確保の効果も期待できる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	年末交通安全県民総ぐるみ運動 in いむろ	(13) 事業中 (12) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(10) 地域の交通安全に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 1 2 月 1 日	
(2) 実施場所	広島交通安佐営業所	
(3) 参加者数	2 0 0 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 いむろエルモ（安佐北交通安全協会飯室支部、 飯室地区社会福祉協議会）	
4 取組内容	広島県が実施する年末交通安全総ぐるみ運動にあわせて、飯室地内を通行するドライバーに啓蒙グッズを手渡すとともに安全運転の呼びかけを行い交通事故の減少を図る。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 飯室は国道 191 号や 261 号など交通量の多い道路あり、特に年末は交通事故が多く発生する。そこで、交通事故防止を呼び掛け、高齢者の多い飯室地区でまずはドライバーに注意喚起を呼び掛け事故防止対策をする。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 地区の各団体が連携し意識を共有し、実施スタッフを幅広くすることで、担い手の拡大につながる。地域を挙げて交通安全の啓発を図ることにより、高齢者やこどもが安全に暮らせる地域の実現につながるが見込まれる	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	いむろ太鼓	(13) 事業中 (13) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年5月～	
(2) 実施場所	飯室集会所	
(3) 参加者数	10人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 いむろエルモ（飯室学区子ども会育成協議会）	
4 取組内容	子どもから若者、中高齢者等広い世代を対象とした和太鼓クラブを創設。オリジナルな演目で飯室太鼓として定着させる。地元独自の演目を広い世代で演奏することで地元の伝統を作り出せる。月数回程度の練習を集会所で実施したうえで、指導者へ月1回謝礼金の支払を予定している。 ある程度の演奏ができるようになったら地域の祭りが行われていないところに出かけて出張出前祭りを仕掛ける。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 子ども会の銭太鼓に形骸化が懸念されるようになったことが背景にある。本格的な太鼓の演奏を実際行うことで子どもたちに本物に触れる機会を創出し、将来的には地域の伝統として継承し特色づけることを目指す。 近年、子どもたちにはゲームを通じて太鼓に触れる機会が多く、太鼓に対して興味を示す者も多いと感じている。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 飯室の伝統を作り出す。和太鼓クラブや出張出前祭り等を通じて、子どもから若者、中高齢者まで幅広い世代を巻き込むことで、地域のコミュニケーションづくりに寄与する。また、地域の新たな伝統を創出し、魅力あるまちづくりを進めることで、人口流出の抑制につなげる。	

3 自主財源で実施する事業

特になし